



アスクレピオス(ドイツ語:アスクーラップ)は古代ギリシャ神話に登場する医術の神です。  
アスクレピオスは蛇が絡んだ杖を持ち、その蛇はやがて医療のシンボルとなり蛇と杖のマークは  
こんにちでも多くの医療機関や製薬会社で使用され目にすることがあると思います。

SQLabでは医療専門家とともに、サイクリングにおける人間工学とライダーの健康を強く意識して製品を開発しており、  
長年にわたる最高レベルの研究開発によって大きな成功を収めています。

# History

1992年 Tobias HildがミュンヘンにてAmazing Toysという名称のブランドでMTB用パーツの販売を開始。

当時Tobias Hildはモトクロスを駆り、MTBでダウンヒルにも熱中していました。しかし、不運にも大きな事故に遭遇し負傷してしまいます。回復後もライド中にしびれを感じるようになってしまいました。

それをきっかけに人間工学への興味が湧き、2002年自転車に精通している泌尿器科医のStefan Staudte博士と知り合います。

彼にそのしびれについて相談することで解剖学の詳細な知識に触れ、自身が抱えるような問題を解決する製品が市場には必要でそれを開発する糸口に繋がりました。

座骨間の距離の計測に着眼し、Stefan Staudte博士と共にサドルメーカーとして初めてサドルの計測システムを開発しますが、それは現在いくつかの他のメーカーでも採用されています。

同年、前立腺患者向けに開発された分割サドル「Hobson asyseat」の販売を開始。

2003年正式に社名をSQLabとし会社を設立します。



# Riders

SQLabは多くの選手・チームなどのプロサイクリストをサポートしフィードバックを得ています。

選手・チームのカテゴリーはマウンテンバイクの各ジャンル、ロード、トライアスロンなど多岐に渡り、得たフィードバックは製品開発のヒントとなっています。

SQLabは、医療の専門家とともにサイクリストの健康を守り長年にわたりサイクリススポーツを楽しめる製品の開発を行っていますが、同時にレースのシーンでもアスリートから要求され勝利に繋がられるための性能も併せて追求しています。

快適に日々の自転車に乗るための製品、競技において正確に自転車をコントロールし、パワーを伝えるための製品と、幅広く揃えており自転車を楽しむすべての人々がライディングに満足できることを願っています。



**Fabio Wibmer**  
Trial, Freeride & Downhill



**西窪 友海**  
Trial & Freeride



**Nina Hoffman**  
Downhill



**Brian Lopes**  
All disciplines on two wheels



**Hans Rey**  
Adventure, Trial, Freeride and Ebike



Detail & More  
SQLab Team Member



# ERGOWAVE

## ERGOWAVE® シェイプ-

フランクフルト大学病院とフランクフルト応用科学大学との共同研究プロジェクトで開発されました。このプロジェクトはドイツ連邦経済エネルギー省からの政府資金援助を受けています。この研究により身体の構造の深部で発生する力と、サドルへの最大荷重を計算することができました。その結果、ロードバイクやマウンテンバイクにおいて人間工学的によりアグレッシブなライドを実現する新しいサドル形状「ERGOWAVE」が誕生し、すべてのテストの最大荷重においてトップスコアを獲得しました。



# PERFORMANCE

## PERFORMANCE シリーズ-

レースで勝つ条件は、その環境下においてより快適であり不快感が無く、バイクとの高い一体感が得られたときです。

完璧なフィット感は推進力を生体力学的に最適化し、パワーを変換するために必須な条件です。

”風の抵抗を避け、地球からの引力を弱めること”

レーサーとしてこれは最大限の効率を得るための前提条件です。

鍛え抜き研ぎ澄まされたアスリートたちの勝敗を決するのは過剰とも思える細部の優位性です。



Stefan Staudte 医学博士

泌尿器科医・スポーツ医学エキスパート

ミュンヘン、ルートヴィヒ・マキシミリアン大学で医学を学ぶ。南アフリカ・ステレンボッシュ大学外科クリニック、エルディング地区病院外科、ミュンヘン・ハーリング市立病院外科で外科研修を受ける。1998年博士課程修了。ミュンヘン大学グロースハーデルン病院泌尿器科の助手および研究員。ミュンヘンLIFEセンター (LMUミュンヘン泌尿器科クリニックレーザー・免疫研究施設) の臨床研究グループ (KFG) の共同研究員。ミュンヘン大学泌尿器科クリニックの人間医学コース臨床学期泌尿器科コースリーダー兼講師。2001年泌尿器科専門医試験に合格し2002年1月より、泌尿器科医およびフリーランスの科学者として手術入院部門を持つ合同泌尿器科診療所で、泌尿器とスポーツに特化した診療を開始。

様々な臨床試験および観察研究へ参加 (例: デュスタステリド第III相試験、ゴセレリン、アルフゾシン、フィナステリド、リュプロレリンADB、各種PDE-5阻害剤ADBなど)。1998年から2002年まで、ミュンヘン、ルートヴィヒ・マキシミリアン大学で、人間工学に基づいた自転車用アクセサリ、特に自転車のサドルを研究・開発。2003年 Tobias Hild とともに SQLab を設立。



SQlabのサドルは、”ステップサドル”と呼ばれる基本デザインで設計されています。上図のような形状で、前端部分と後端に高低差があります。

ステップサドルの利点は、低いノーズによって骨盤もしくはその付近にある血管・神経への圧迫を避ける形状となっています。

ライド中、血管・神経への圧迫が続くとライダーはしびれを感じ、これが長時間、継続的に起こることで機能障害や健康を害する原因に繋がります。

後方の高くなっているセクションはライダーを支え、より確かなパワー伝達を可能にします。

人間が座るとき、座骨は体の体重を支え高い圧力に耐える機能を持っています。自転車に乗る際も同様ですが、前傾姿勢を伴うスポーツバイクの場合、会陰部・恥骨にも体重がかかることになります。会陰部の神経と血管のネットワークは、肛門から生殖器を経由して上部の恥骨弓に達しています。これらへの荷重は避けることが重要で、ステップサドルのノーズを低くしたデザインは、会陰部と恥骨への圧力を均等に軽減することができます。



サポート  
荷重の支持

リリース  
会陰部・恥骨等の神経圧迫を回避

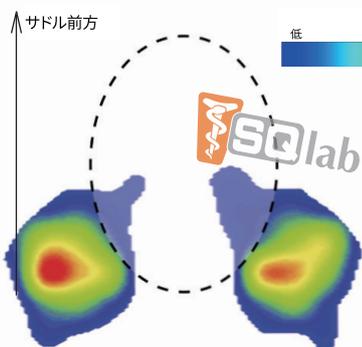


通常前傾姿勢をとった際に生じる圧迫を回避する大きなくぼみ

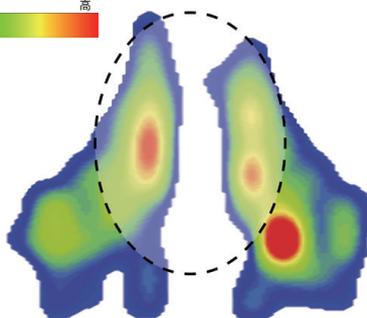
プレッシャーを発生させずに体が接触するフラットエリア

ステップサドル形状により圧迫を回避し、高いパワー伝達効率を実現。さらに低いノーズはスリムな幅で、脚が接触することもなくペダリングの妨げになりません。

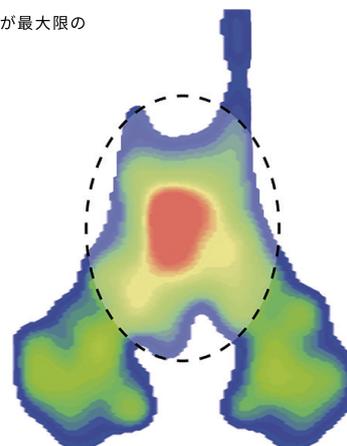
フラットで下がったノーズが最大限のリリースを提供します



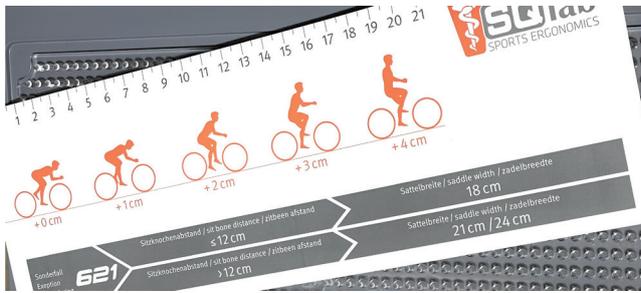
SQlabサドルでの圧力分布の様子。座っている座骨部分で強い圧力がかかっているが、神経や血管が集中する会陰部・恥骨部分では圧力がかかっていない。



中央に穴もしくは溝があるサドル。会陰部には圧力がかかっていないが、穴・溝の縁に高い圧力がかかっている。



サドルトップがフラットの形状。神経・血管が集中する会陰部分に高い圧力が集中。神経経路が損傷し血液供給が大幅に減少する可能性があります。



SQサドルは座骨の幅を測定し、用途(姿勢)に最適なサドルサイズを選ぶことが重要です。また、このコンセプトを開発した世界で最初のメーカーでした。

SQlabでは座骨の間隔を計測するツールがありますが単純に背筋を伸ばして座った時の座骨の間隔を測ることができれば大丈夫です。

バイクへの乗車姿勢が起きていればいるほど、実測の座骨幅に数値をプラスしてサイズを選択します。TTポジションのように極めて前傾がきつい姿勢の場合は+0cm、上半身がやや起きたリラックスポジションでは+3cmといった具合です。

座骨の間隔は、基本的には性別や体形によらず各々個人によって異なります。

SQlabの製品群は男性用と女性用で区別はありません。あくまでも計測した数値に基づいてサドルサイズをお選びください。



座面がフラットである・座骨が乗る部分が狭い、といったサドルは本来圧力に耐えられる座骨ではない部分の骨がプレッシャーを受け、骨盤は安定性を欠き自然な動作の動きも難しくなる。  
会陰部にも強い圧迫が生じる。



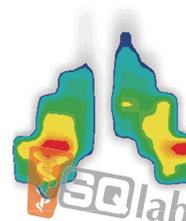
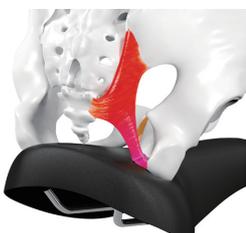
座骨の幅に合った適切なサイズのSQサドルでのライドの場合、座骨が本来持つ機能である体重を支える部分に、大部分の体重がかかり血管や神経を圧迫してしまうことを回避できる。



座面がフラットである、クッションが柔らかいサドルなどの場合、サドルに対し骨盤が大きく沈み込み広い範囲でプレッシャーが生じ、会陰部・恥骨部分の重要な血管、神経を圧迫するのみならず、深部の腱や筋肉、敏感な軟部組織が刺激を受け鈍く深い痛みに繋がる。



また、適切な場所に収まる骨盤は安定し、より確かなパワー伝達とスムーズなペダリングが可能になる。



SQサドルのクッションは適度な硬さを持ち、沈み込みも最小限に抑えられサドルパッドから受けるプレッシャーの面積を少なくすることができる。



# For MTB & E-mtb

オーエックス

## Saddle 60X Infinergy® Ergowave active

Width : 13cm 14cm 15cm    wight : 250g ~    ¥31,900  
Rail : S-tube    Length : 280mm



Made in Germanyで最新素材を使用。生産効率が高くさらにドイツの厳格な有害物質に関するガイドラインにも準拠しています。E-MTBでの長く険しい上り坂に最適なサドルであると同時に、ペダルバイクでも最適な安心感を与えてくれます。ライダーは体力を消費する姿勢をとる必要がなくなり、すべてのエネルギーを推進力として利用できるようになりました。ペダリングに合わせてサドルがスイングするアクティブテクノロジーを搭載しており、よりソフトでスムーズな乗り心地であるだけでなく、骨盤の生理的な動きを可能にし腰椎下部の疲労蓄積を予防します。



アクティブテクノロジーは骨盤の生理的な動きを可能にします。これによりペダリング時の動きが確保され、椎間板や関節の負担を軽減することができます。付属の3種類のエラストマーを使用し、ソフトなものからほとんど動かないものまで、体重に合わせて調整することができます。



サドルのクッションフォームには従来のポリウレタンフォームではなく、ランニングシューズでおなじみのBASF社製Infinergy®素材を採用しています。非常に頑丈で、ほとんど破壊されることがなく、全く新しいレベルの快適さをもたらします。特にオフロードでの使用では、復元が早いことが特徴です。



### S-tubeレール

ステンレスをベースに様々な金属を配合した合金で、最高の性能を発揮するための特殊な表面処理を施した中空チタンレールと同等のレールです。軽さに加え、強さと柔軟性を兼ね備えます。



## Saddle 611 Ergowave CrMo

Width : 12cm 13cm 14cm    wight : 244g ~    ¥14,300  
Rail : Cr-Mo    Length : 280mm



ERGOWAVE



クロモリレールを採用するスタンダードなMTB用サドルです。SQLabのアイデンティティであるステップサドル形状のデザイン。サドルノーズはロードモデルと比較すると若干広めになっており、より幅広いライドポジションが選べます。クッションの固さはロードモデル612より若干柔らかくなっています。

# For Road



## Saddle 612 Ergowave Carbon

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 150g ~ ¥29,700  
Rail : Carbon(7mmx9.6mm) Length : 275mm



ロード向けモデル612の上級軽量グレードでカーボンレールを採用。固めて適度なボリュームのクッションは長時間のライドでも快適に過ごすことができます。エルゴウェイブコンセプトによるデザインで快適性とより優れたパワー伝達効率でロングライドやレースがもっと楽しいものになるはずです。



## Saddle 612 Ergowave S-tube

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 196g ~ ¥20,900  
Rail : S-tube Length : 275mm



ロード向けモデル612のスタンダードグレードで、コストパフォーマンスに優れたS-tubeレール採用。よりお手軽にステップサドルの性能を楽しむことができます。ひとまずSQlabサドルのテクノロジーを試してみるのに最適なモデルです。



## Saddle 612 Ergowave R S-tube

Width : 12cm 13cm 14cm wight : 165g ~ ¥23,100  
Rail : S-tube Length : 252mm



612から最低限のものを残し削ぎ落としさらに軽量化した612R。モデル名に“R”を冠し、より競技色が濃いサドルです。ヒルクライムやクリテリウムなど比較的競技時間が短いシーンで活躍が間違いないサドルです。サドルノーズは短くなっておりクッションも最低限となっています。SQlabのショート SQ-Short ONE12と併せてご使用いただくことをお勧めします。

# For Triathlon



PERFORMANCE

## Saddle 613 Ergowave R S-tube

Width : 11cm 12cm 13cm    wight : 230g ~    ¥27,500  
Rail : S-tube    Length : 249mm

非常に軽量でありながら十分なクッションを備え、パッドが薄いライスーツでのライドでも快適にレースに臨めます。クッションはロードモデルと比べて柔らかめになっています。エルゴウェーブコンセプトに基づくデザインによりパワー伝達効率とペダリングのしやすさは保証され、より長時間に及ぶトライアスロンにおいても会陰部への圧迫を懸念する必要はありません。サドル後端には専用のボトルケイジアダプターを装着することができ、安定してボトルを固定することができます。



## 613 R integrated bottle holder

material : stainless steel    color : silver    wight : 90g    ¥6,600



613 Ergowave R サドル専用のボトルケイジアダプターです。サドルの専用台座にボルト2本で固定することで、より安定して固定することができます。3か所のボトルケイジ固定台座があり、センターに1つもしくは左右に2つの取付が可能です。収納したボトルは進行方向に傾き、ボトルの取り出しも格段に容易になります。最大積載量1.5kg



※表示の価格は全て税込価格となります

# Apparel

## SQ-Short ONE12

Size : S M L XL Pad : SQ pad 4mm厚

¥29,700

Material : 65% Nylon 35% Elastane

多くの分厚く柔らかい、いかにも快適なクッションのパッドとは大きく異なるSQ-padは、厚みは4mmと薄く、とても固いパッドです。SQlab独自のこのセンセーショナルなパッドは、ペダリング時に発生する不快なパッドへの沈み込みが無く不意な変形がありません。極薄のパッドは、走行距離が長くなるほどに体にフィットしより快適になります。



SQ-pad はなぜ硬くて薄いのか？

柔らかすぎるサドルは、通常30～45分ほど自転車に乗ると非常に不快になります。座骨が沈み込みすぎて、筋肉や腱などの敏感な軟部組織に悪影響が発生し深く鈍い痛みが生じます。また、座骨が沈み込むことで男性の場合は会陰部、女性の場合は恥骨弓の下側に高い圧力がかけられます。特に柔らかいパッドは、より血流が滞る原因になります。

問題なのは、私たちは固めてスリムなサドルに乗っているにもかかわらず、レーサーパンツに通常よく使用される厚手のとても柔らかいパッドで再び柔らかいサドルを作っている、ということです。

柔らかいサドル(硬いサドル+柔らかいパッド)は、体が沈み込むことで血流の停滞、圧迫・摩擦の増加を再び引き起こします。

SQlabパッドテクノロジーは上記の悪影響の排除に成功し、長い年月を経て私たちは人間工学的に高品質で硬く薄くしっかりした特性を持つパッドを開発しました。



PERFORMANCE

size (cm)	S	M	L	XL
ウエスト	81-85	85-89	89-93	93-97
ヒップ	94-98	98-102	102-106	106-110
股下	80-82	82-84	84-86	86-89

※表示の価格は全て税込価格となります

# Fabio Wibmer series

## Saddle 611 Ergowave Fabio Wibmer

Size : 12cm 13cm 14cm    wight : 195g ~

¥20,900

Rail : S-tube    Length : 280mm

S-tubeレール使用のMTB向けモデル611 Fabio仕様です。



## Saddle 60X Trial Fabio Wibmer

Size : one size

Weight : 195g

¥5,500

Rail system : Tripod® system    Length : 225mm

シートポストへの固定方法はTripod®システムを採用します。



## Handlebar 30X Fabio Wibmer

Width : 800mm    Rise : 25mm    wight : 235g    ¥31,900

Material : Carbon    Clamp : 31.8mm    Back sweep : 7°

Up/Down sweep : 4°/0°

ハンドルバーに関して、優れた安定性と適正なバックスイープはFabioの最優先事項です。30XFabio Wibmerはプッシュ・プルの方に補強されています。特に、通常引張り方向は高負荷に弱いため補強を強くしています。バックスイープはハンドルバーが上半身に近いほど小さくなりますが、30XFabio Wibmerは7°の設定になっています。



## Handlebar 30X Trial Fabio Wibmer

Width : 730mm Rise : 84mm wight : 330g ¥16,500  
 Clamp : 31.8mm Back sweep : 9° Up/Down sweep : 5°/0°  
 Material : Aluminum

84mmのライズにより通常のハンドルバーよりもフロントエンドが大幅にアップし、80X Trialステムとの理想的なパートナーとなっています。この組み合わせによるコックピットの高さは、体の重心を無理なく後輪に移動させ、パニーホップなどのトリックに適した"ポップ"を生み出すことができます。



## Stem 80X Fabio Wibmer

Length : 35mm Angle : 6° Stack Height : 32mm ¥14,080  
 wight : 138g Clamp : 31.8mm Clamp width : 50mm  
 Bolt : Steel



※写真のトップキャップとコラム引き上げボルトは付属しません。

## Stem 80X Trial Fabio Wibmer

Length : 90mm Angle : 35° Stack Height : 38mm ¥6,600  
 wight : 145g Clamp : 31.8mm Clamp width : 40mm  
 Bolt : Steel



※写真のトップキャップとコラム引き上げボルトは付属しません。

## Grip Fabio Wibmer 70X

Size	Length	Range	wight	¥4,730
S	134.8mm	96.8mm	132g	
M	134.8mm	101.4mm	155g	



# Handlebar



## Handlebar 312 R Carbon

Width : 380mm 400mm 420mm    wight : 235g~    ¥44,000  
 Material : Carbon    Clamp : 31.8mm    Clamp area : 40~50mm  
 Reach : 80mm    Drop : 120mm    Flare : 1.5°



PERFORMANCE

narrower than shoulder width    wider than shoulder width  
 ← Frontsweep    Backsweep →



トッパーのグリップエリア



下ハン外側のグリップエリアフラット加工

フロントスイープ  
 指がしびれる原因の多くは手首の伸びすぎによる場合が多くみられます。ニュートラルな姿勢では手首はまっすぐになりますが、MTBのハンドルを握るときなど肩幅より広い腕の位置では、バックスイープで手首の伸びすぎを防止します。

しかし、肩幅以下の位置では、バックスイープの角度ではさらに手首が伸びてしまいます。312Rバーでは、前腕から手首への移行をまっすぐにするために、フロントスイープを10°に設定しました。

## Bar Tape 712 / 712 RUH ltd.

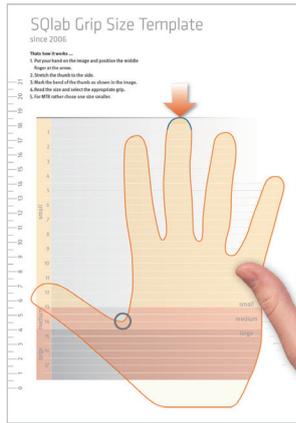
Length : 2000mm    Width : 30mm  
 wight : 125g    Material : Elastomer

¥3,300

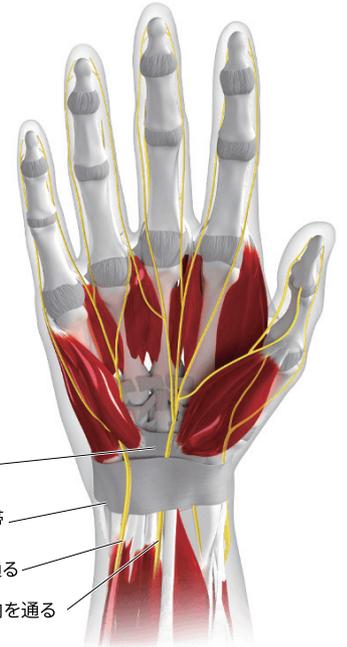


※表示の価格は全て税込価格となります

# Comfort grip & Performance grip



SQLabのグリップはサイズ展開があり、指の長さを基準に計測します。上記QRコードよりサイズシートのPDFをダウンロードできますが、壁に指先を当てて親指の股までの距離を実測し計測できます。



## ウィング形状のグリップ702と710が解決する神経の圧迫

**手根管内圧力の緩和**  
荷重を受けるフラットなウィング形状部分は、手根管出口付近の圧迫感を軽減するため、できるだけ外側に配置する必要があります。常に圧迫を受け続けると、手根管症候群などの問題を引き起こす可能性があります。

**尺骨神経圧の緩和**  
最大圧力は通常、手のひらの外側で発生することがわかりました。このとき、2本の小指に到達している尺骨神経が圧迫を受けます。

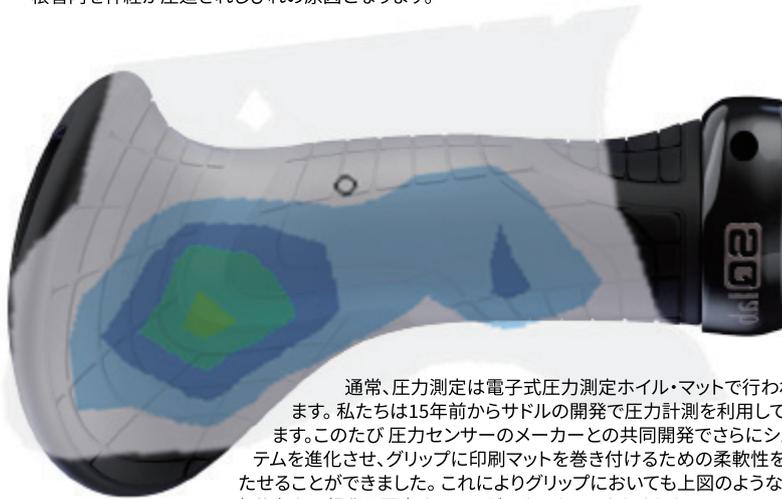
**手根管**  
手首のねじれ、特に手首が横方向に伸びすぎていると、手根管は狭くなります。ホースが曲がって水が出なくなるのと同じで、狭くなった手根管内を神経が圧迫されしびれの原因となります。

手根管出口 - 手の中で最も敏感な部分の一つです

手根管・靭帯

尺骨神経 - 小指と薬指に供給され、手根管の下を通る

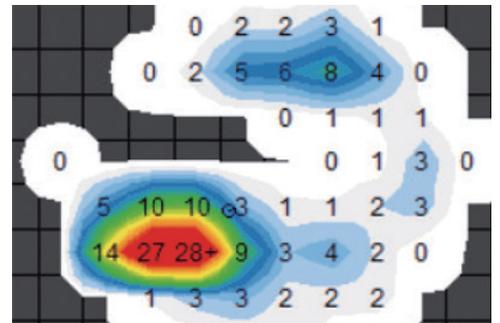
正中神経 - 親指、人差し指、中指を支え、手根管内を通る



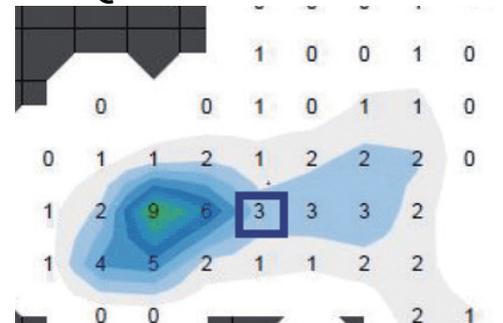
通常、圧力測定は電子式圧力測定ホイール・マットで行われます。私たちは15年前からサドルの開発で圧力計測を利用しています。このたびは圧力センサーのメーカーとの共同開発でさらにシステムを進化させ、グリップに印刷マットを巻き付けるための柔軟性を持たせることができました。これによりグリップにおいても上図のような圧力分布を可視化し研究することができるようになりました。



## 円筒形のグリップ



## SQ 702 グリップ



## ライズアップエンド

グリップエンドの盛り上がり手が手の側面を拾い上げ、支えます。その結果、圧力が広い面積に分散されます。

# Innerbarends 411 R Carbon

Material : Carbon Clamp : 22.2mm wight : 40g ¥20,680

ハンドルバーのグリップより内側にセットし、ハンドルを握る腕の開きを肩幅に近づけることができます。インナーバーエンドを握ることで、風の抵抗を軽減しかつ腕の筋肉の緊張を和らげることができ、リラックスしたライドが可能になります。地形の変化が少なく、単調な路面状況において体力の温存に効果的です。カーボン素材で極めて軽量です。



PERFORMANCE

# Grip 702

Size	Length	Range	wight	¥6,380
S	139.1mm	108mm	215g	
M	143.6mm	110.8mm	225g	
L	145.8mm	123.7mm	255g	

グリップ702と710は非常に大きな領域で圧迫分散できます。よって最大圧力は同等の人間工学グリップよりも約25%も低い数値が得られます。手根管出口において、702は通常の円筒形グリップに比べ約半分以上に減らすことができます。エンド部分の盛り上がりは、グリップを握ったときに手首をより自然な角度に調整してくれます。



# Grip 710

Size	Length	Range	wight	¥5,500
S	136.8mm	102.6mm	165g	
M	139.1mm	106mm	180g	
L	145mm	115.2mm	205g	

圧迫の圧力分散は702よりも若干劣りますが、通常のエルゴグリップに比べると優秀です。手根管出口での圧力は、手の外側の最大圧力のおよそ三割と低く、神経への圧迫は十分に緩和できます。702に比べ軽量ですので、よりスポーティーさをお求めの場合は710をチョイスしてください。



Size	Length	Range	wight	¥7,920
S	155mm	100mm	268g	
M	155mm	105mm	284g	
L	155mm	110mm	328g	

# Grip stuby

Stuby®の大きな利点は、エンド部分にあるバーによって中心から遠くを掴むことができます。典型的なバーエンドの利点ですが、エンドバーは掴む指・手のひらがよくフィットできる形状になっており、一体型である恩恵が享受できます。



※表示の価格は全て税込価格となります

## Grip 70X

Size	Length	Range	wight
S	134.8mm	96.8mm	132g
M	134.8mm	101.4mm	155g

¥4,730

新開発の衝撃吸収コンパウンドと、前面と下側のテクスチャゾーンによってあらゆる状況下で最適なグリップを提供します。クランプリングは、ハンドルに対しグリップをしっかりと固定します。繊維強化プラスチックの本体は安定感を向上させます。



## Grip 711 tech & trail 2.0

Size	Length	Range	wight	¥5,280
S	134.8mm	98mm	114g	
M	134.8mm	103mm	137g	
L	134.8mm	112mm	169g	

70Xに比べエンド側の外径が大きくなっており、顕著なテーパ形状になっています。肩幅より広く開いた腕でグリップを握る場合、外側が高くなっていることで手首が自然な角度をとれます。またその外側のクッションもより豊かで70Xよりも幾分リラックスしたライドに向いています。



ダイヤモンドゾーン  
ひし形のパターンが天候に左右され  
ないグリップを提供します。

コンフォートゾーン  
より最適にショックを吸収するエリア

グリップゾーン  
一本一本の指がそれぞれ確かな  
グリップを得られます。



人間の指はそれぞれ長さが異なり、関節の位置も違います。その微妙なカーブに合わせた形状を持つ70Xと711は、より最適なグリップを得られ、天候などのコンディションに左右されないパフォーマンスを発揮できます。



本カタログに掲載の内容は2021年1月最新のもので、  
製品のカラー、仕様、価格等予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ウインクレル 株式会社 SPORTS Division  
[www.sports-w.com](http://www.sports-w.com)

〒231-0032  
神奈川県横浜市中区不老町3-12-5 下山関内ビル4階